

春・秋の願成就祭について

六地蔵と婦人会

黒川区墓地の一隅に、六体のお地蔵様が静かに並んで立っておられる。

実は、この六地蔵建立の由来を私はつい最近知りました。

昭和四年、この地域に疫病が蔓延し、数え年三歳の女の子ばかり六人が次々に亡くなりました。そこで当時の婦人会で、亡くなった子供の冥福と今後に生まれくる子供たちの健康と安全を守り、そして再びこのような恐ろしい疫病が発生する事のないように祈願して建てられたそうです。喜びも悲しみも、地域 みんなで分けあうとう、今失われつつある「地域の人々の連帯感」の大切さを示唆しているようで、これこそ婦人会の原点と私は深い感銘を覚えました。そのお地蔵様には「昭和五年五月吉日・黒川区婦人会」と銘されており、毎年春と秋のお彼岸には真新しい赤い前垂れが掛けられます。野ざらしに立ち続けて六十数年、ひたすら時の流れを静観して来られたお地蔵様、最近の急激な社会環境の変化をどのように感じておられるのでしょうか。

また豊かさの中で多様化する物の価値観、お地蔵様は地域婦人会の存在価値をどのように評価しておられるのでしょうか。

時代と共に歩いてきた地域婦人会、これからも地域を支える基盤として、足元の小さな問題に精一杯取り組んでいきたいと思います。



たかが婦人会 されど婦人会 皆様のご支援をお願いします。

故 谷岡恵美子さんの文章引用

創設時には婦人会の取組みとして始まった祭事でしたが、継続して続けていくべき大切な地域の行事であるとの位置づけで、現在では当番班において順次引き継がれている行事になっています。

願成就祭事: 春(3月20日春分の日) / 秋(9月23日秋分の日)

午前10時から午後1時まで

※ 神事は10時から黒川天満宮で行われます。

黒川天満宮においてのお参りとなります。

多数の皆さまのお越しをお待ち申し上げております。

当番班: 黒川 ■班

※不明な点は各班長さんまでお問い合わせください。